

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	東北大学	整理番号	1-2-070
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	国際コンピテンシー人材育成教育プログラム		
申請単位	学部単位		
申請担当者	岡田 益 男		
(取組の概要)			
<p>本教育プログラムは、世界を舞台に活躍し、社会で指導的な役割を果たす人材に不可欠である課題探求能力育成と国際協調性、国際競争能力を育成することを目的とし、(1) 創造工学研修、(2) 海外大学との共同プログラム、(3) 海外大学との交流会の3つのプログラムより構成される。(1) 創造工学研修は、課題探求能力を涵養するために、1年次に実験・実習に力点を置いた体験学習型科目として少人数単位で実施されている。学生の国際性を育成するには、実際に海外大学の訪問や海外学生との交流が有効であり、(2) 国際的な協調性や競争力を育成する方策として、上記の「創造工学研修」で設定された幾つかのテーマをワシントン大学等海外大学と共同で実施している。(3) 工学部の専門分野別の5系をユニットとして、海外の大学との交流会を開催する。また、工学部長をリーダーとして海外の大学を訪問し、交流会を開催している。</p>			
(採択理由)			
<p>東北大学工学部・工学研究科全体で、世界を舞台に活躍する沢山の人材を工学分野で育成するための国際性ある創造的工学教育プログラムであり、海外協定大学と協力してプログラムを実施している点に特色があります。入学時から体験型学習を受けさせることは重要であり、実施当初から年々履修者数が増加し、新入生の82%が受講するにいたっていることは評価できることです。学生のときから、国際交流意識を創造工学研修の中で自覚させるのは優れた教育方法であると言えます。国際的競争の中で活躍できる人材は、異言語のバリアを経験して育つものであり、学生の積極的で果敢な挑戦を促す取組として、他大学にも参考になると考えられます。</p> <p>教育の成果に対する測定・評価については、十分な認識があるものの、現在検討中であり、今後の大きな課題だと考えられます。</p>			